

# 定通制大会トーナメント作成及び上位大会出場者選出規定

## 1 個人対抗戦の組合せ方法について

### 第1段階 シード選手の位置を確定させる

(ア) シード選手は、次のとおりとする。

A) 春季大会は、直近の秋季大会の上位者

B) 秋季大会は、直近の春季大会の上位者

さらに、以下の者をシード選手とする場合がある。

C) 前回大会のシード対象者でありながら前回大会に出場していない者

D) 初めて大会に参加する経験者

(イ) シード数は、シングルス8本以内、ダブルス4本以内とする。ただし、(ア)のC) D)によりこれを超える場合がある。その際のシード位置は、役員で協議して決定し、C) D)によるシード選手(組)が上位シードになる場合はA) B)によるシード選手(組)を繰り下げる。

(ウ) シード選手(組)がエントリーされていない場合は、空いたシード位置の繰り上げは行いが新たにシード選手(組)を増やすことはしない。

(エ) シード位置は、高いほうから順に入れていき、同一校の偏りがあっても考慮しない。

(オ) ダブルスのシード順位については、直近大会での順位を個人の点数とし、2人の合計点数が少ない組を上位シードとする。順位のないベスト8以下の者または出場なしの者は8点とする。同点の場合は、上位の順位を有する組を上位とする。それでも同点の場合は抽選とする。

### 第2段階 シード選手以外の位置を確定させる

(ア) シード選手を確定させた後、パック(シードと直接当たる位置も含める)に入る選手(組)を決める。パックは、シングルスにおいては第1から第4シードに対応する位置、ダブルスにおいては第1及び第2シードに対応する位置とし、それより下のシードに対応する位置には設けない。まずは、エントリー数が多い学校を中心に、学校ごとのパック本数を決める。パック対象となるのは、その学校のエントリー順位が最下位の選手(組)からとする。ただし、この時点では選手(組)を決めるだけで、入る位置までは確定しない。

(イ) シード選手だけを表示したトーナメントを作成する。(パックの位置には×を表示)

(ウ) 各校の校内順位が高い選手(組)から1名(組)ずつ入れていく(A校1番手 → B校1番手・・・ → A校2番手 → B校2番手・・・)。最大でも3巡までとし、「残りくじ」の半分を超えないこととする。ただし、1巡で半分を超える場合は、1巡目はすべて入れる。その際は、以下のB)は考慮しない。「残りくじ」とは、トーナメントでシードとパックを除いた位置のことをいう。

A) 入れていく学校の順番は抽選で決める。

B) 初戦の相手が決まる位置には入れない。(1番手同士の直接対決を避けるため)

C) シード位置の高い場所から入れていく。(例えばシード4本で各校の1番手が10人の場合、第5シードから第14シードまでの位置を1番手で使用し、2番手は第15シードからの位置を使用する)

D) シードを含めて自校の選手(組)が2本の場合には、2ブロックに分かれるように入れる。3、4本になる場合には、原則4ブロックに散らばるように入れる。4ブロック以上での偏りは考慮しない。(最終的に散らばればよいわけではなく、その都度散らばるように入れる)

(エ) 終了後、まだトーナメントに入れていない選手(組)とパックに入る選手(組)の位置を抽選により確定させる。なお、初戦の同校対決は避けるが、(ウ)のD)は考慮できないこともある。

## 2 団体戦の組合せ方法について

個人戦の成績に応じてシード順位を決定する。考慮する個人戦の成績は、シングルスベスト16、ダブルスベスト8以内とし、各校シングルス上位2本とダブルス上位1本をポイントの対象とする。なお、ポイントは以下の通りとし、高得点順にシードする。同点の場合は、抽選とする。

優勝 = 10ポイント

準優勝 = 9ポイント

ベスト4 = 7ポイント (順位決定した場合、3位=8、4位=7ポイント)

ベスト8 = 3ポイント (順位決定した場合、5位=6、6位=5、7位=4、8位=3ポイント)

ベスト16 = 1ポイント

## 3 上位大会選出方法について

- (ア) 春季大会・秋季大会ともに順位決定戦を行い、個人戦シングルスは1位から8位までを、ダブルスは1位から4位までを確定させる。
- (イ) シングルスにおいては、ベスト8以上からの敗者復活戦を行い、さらに必要であれば2位決定戦を行う。ただし、本戦で一度対戦した同一カードの試合は行わず本戦の結果を反映させる。
- (ウ) 全国大会 (春季大会個人戦が選考会を兼ねる)
  - A) 団体戦：男女各県選抜チーム6名  
ダブルス優勝1組と、その2名を除いたシングルス上位4名の計6名で編成する。辞退者が出た場合は、シングルス上位から繰り上げる。ダブルスの一人が辞退した場合は、残りの一人は選抜チームの権利を有する。
  - B) 個人戦シングルス：男女各2名  
シングルス上位2名。辞退者が出た場合は、繰り上げる。A)と兼ねることができる。
- (エ) 東海大会 (春季大会の団体戦と個人戦が選考会を兼ねる)
  - A) 団体戦：4名以上の登録がある男女各1校  
団体戦優勝校。ただし、4名以上の登録がない場合は、団体戦上位から繰り上げる。
  - B) 個人戦ダブルス：A)を除いたダブルス上位2組  
辞退者が出た場合は、ダブルス上位から繰り上げる。
  - C) 個人戦シングルス：A), B), および全国大会シングルス出場者を除いたシングルス上位2名  
辞退者が出た場合は、シングルス上位から繰り上げるが、この場合は全国大会シングルス出場者も出場可能とする。

令和6年9月1日 制定

令和7年4月1日 改定

令和8年4月1日 改定